

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	05	まちづくり推進実践活動事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			平井・福本	63356

事業の概要									
事業の概要		区民が自分の住む地域に興味や愛着を持てるよう、地域団体等と協働・連携し、区の魅力の発信や、まちづくり等を行う団体・地域活動団体等の発展に繋がる事業を展開します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業				
		—	—						
地域の課題と現状		地域活動へ参加していない区民の割合が多く、市民活動に関わらず趣味の活動や地域の活動が広がり、区の魅力発信を発信する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	900	182	900	228				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	900	182	900	228				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民が自分の住む地域に興味や愛着を持てるよう、地域団体等と協働・連携し、区の魅力の発信や地域活動等の支援に繋がる事業を実施します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活動等を始めたり、活動の幅が広がる支援となるような事業を実施します。</li> <li>●幅広い世代に向けて、区の魅力を分かりやすく発信するための事業を実施します。</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の活動等を始めたい人に向け、地域コミュニティに関する活動や、自身に合った形で楽しみながら地域コミュニティに関わる人々を紹介する講座を開催した。</li> <li>●地域活動等を始めたい人、既に行っている人が、活動を始めたり、活動の幅が広がるような冊子・WEBサイト(kikkake)を作成した。</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	地域活動等啓発冊子の作成	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、中間支援組織の活動が終了となった。今後は地域活動等を始めたい人の支援となり、区の魅力を発信できるような事業が必要となる。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、令和4年3月に中間支援組織の活動を終了。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	多様な価値観を前提とした、新たなコミュニティを構築する支援が必要であり、ニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	本事業を元に、地域活動等の支援に繋がったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	事業の手法の工夫により、年度によっては経費の削減が可能なので、柔軟に事業を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
既存の枠組みに捉われず、柔軟な発想で効率的な事業の展開を行います。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	15	市民活動活性化事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		平井	63356	

事業の概要									
事業の概要		市民活動団体の活動支援のため、中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを、市民活動団体が主体となり運営します。また、市民活動の活性化のため、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		—		—					
地域の課題と現状		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,251	2,005	2,051	2,047				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2,251	2,005	2,051	2,047				

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを市民活動団体が主体となり運営することで、市民活動団体の活動を支援します。また、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出することで、市民活動の活性化を推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中原区民交流センター「なかはらっば」の団体による自主的な運営の推進</li> <li>● なかはら市民活動の集い「なかはらっば祭り」の開催</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・中原区民交流センター「なかはらっば」の運営。 ・市民活動の集い「なかはらっば祭り」は、中原市民館・グランツリー武蔵小杉での同時開催とし、来場者が2会場を回遊できるようにしました。活動紹介のパネル展示、ワークショップ、ステージプログラムを実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	中原市民活動の集い「なかはらっば祭り」の開催	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区民がこれからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めていくため、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出していくことが必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		運営団体のまちづくり推進委員会が令和3年度で活動休止となったため、休止後の区民交流センターの運営団体となる「中原区民交流センター利用者の会」を立ち上げ、役員会や利用者懇談会を開催しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民自治の実現や市民活動の活性化へのニーズは依然として高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区内の市民活動団体の活動は着実に活性化しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	自主運営の推進に向けた取組の検討が必要となっています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 区内の市民活動や地域コミュニティの活性化を促進するため、区民との協働により本事業を実施していくことが適切であると考えられます。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	20	中原区広報・広聴推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			小池	63122

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>区ホームページについて、最新情報やニーズが高い情報へのアクセスに配慮したページ作成を行います。</li> <li>研修等の実施により、職員の広報意識を向上させ、積極的な広報活動を推進します。</li> <li>地域メディアとの連携により、あらゆる媒体を活用した広報を行い、区の魅力情報や行政情報を効率的、効果的に発信することで、区民の地域に対する愛着心の醸成や、区のイメージ向上を図ります。</li> </ul>							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業				
		—	—						
地域の課題と現状		毎年約2万人の転入があるなど区民が多様化する中、区の現況や区民のニーズを的確に把握し、必要とされる情報や魅力情報を効果的に発信することで、地域コミュニティの活性化を推進していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,311	4,340	2,890	2,838	4,370			
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	4,311	4,340	2,890	2,838	4,370			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民に必要とされる情報や魅力情報を効果的に発信することで、地域コミュニティの活性化を推進します。
今年度の事業の取組内容	・地域メディアとの連携や地域資源を活用した効果的な情報発信の実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・地域メディアを活用した区の広報番組の情報発信のほか、区内鉄道各駅や区内公共施設等14箇所を設置する情報コーナーへの市政だよりや地域メディアの広報紙の定期的な配架 ・広報広聴担当者会議をアンケート方式で実施。 ・NMN10周年記念の特別番組を作成 ・HPで多言語及びやさしいにほんご対応のページを作成							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	なかはらメディアネットワーク(NMN)と連携した地域情報の発信件数	42	45			回	
	2								
	3								
	4								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		・インターネットの普及に伴い、区ホームページ等のアクセシビリティ向上が求められています。 ・子育て世代の転入や来街者の増加により、区民が多様化してきています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・広報物に二次元コードを採用することにより、インターネットによるアクセシビリティの向上を図りました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民が増加多様化する中、地域情報の浸透による地域愛の醸成や、新住民への情報提供の必要があり、ニーズは薄れていないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域新聞掲載回数について増加したことから、一定の効果があつたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	取組の目的や内容、包括的かつ効果的な広報手法の検討し、適正な予算執行や事務効率改善を進めています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ 事業の目的や方向性は維持し、区民のニーズの動向把握に努め、地域メディアと連携し、地域メディア同士の連携も誘導しながら多様化するニーズに対応した情報発信を実施する。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	25	商店街と連携した地域のまちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		伊藤	63353	

事業の概要									
事業の概要		商店街を地域の情報交換や交流の場として活用し、地域の活性化に向けた取組を推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成20年度		—					
地域の課題と現状		中原区では、人口が増加する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、これまでも地域コミュニティ活性化事業等を通し課題に取り組んでいるところではありますが、商店街を地域の情報交換や交流等の場としてとらえ、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を提供し、地域を活性化していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	600	592	600	373				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	600	592	600	373				

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区の状況を踏まえ、商店街を地域の情報交換や交流等の場としてとらえ、商店街の店舗を活用した各種教室や交流イベントを実施し、区民の交流機会の創出を図ります。
今年度の事業の取組内容	商店街の店舗を活用した各種教室及び地域交流イベントの実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・商店街の店舗を活用した各種教室を計6回実施しました。 ・地域交流イベントについては、店舗や講師と打ち合わせ・調整などを行い、参加者募集の広報などといった開催に向けた準備を行っていましたが、応募が実施可能人数に至らなかったため中止となりました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	各種教室及び地域交流イベントの開催	目標	7	7			回
				実績	7	6			
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		コミュニティ支援や地域包括ケアシステムの着実な推進に向けて、地域住民が主役になった地域での自助・互助の取り組みを促進するために、商店街を活用した地域の活性化を推進することが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施( 6 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		費用対効果の面について、より多くの市民が参加することで地域の活性化につながるよう、過去の例の改善点等を生かしつつ、開催方法や実施内容において創意工夫を図り、各イベントにおける参加者数を増やせるような事業内容を検討していきます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	定員を超える募集人数があったことから、参加する市民・商店街ともに地域の活性化に向けた事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加者にあまり馴染みのなかった商店街や各店舗と参加区民との交流が得られたこと、異なる地域に住む区民同士で交流していただく機会を設けることができたことなど、参加者にも満足いただける事業を開催することができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	課題である募集人数を増やす取組について、収容人数の多い会場の用意や開催回数を増やすなど、区民ニーズに合った開催手法を検討していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 本事業は、区民が商店街への関心や愛着を持っていただく機会となること、共通の興味や関心を持つ地域住民同士の交流が図れることから、地域活性化につながるものです。より多くの区民の交流機会創出のため、時勢や区民ニーズ等を捉えた企画立案及び余裕のある募集期間を設定するなど計画的に実施します。また他事業のイベント内で開催し、応募不要にするなど、改善に向けた開催手法に取り組みます。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	35	小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		山下	63363	

事業の概要											
事業の概要		武蔵小杉駅周辺地域では、再開発により居住者が短期間で大幅に増加するなど街が大きく変貌しました。その中で、地域における災害対応や高齢化等の課題に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により街の魅力づくりや愛着づくりの重要性が増していると思定されるため、課題解決や価値創出に向け、地域住民や企業がコミュニティを形成しながらこれらを実現していくための下支えを行います。									
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業					
地域の課題と現状		令和元年東日本台風の影響による地域のイメージダウンを経験したことにより、さらなる魅力づくりや地域の愛着づくりに向けた取組が重要性を増しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における滞在人口が増加し、地域における居場所づくりや居心地よく暮らしやすいまちなか空間の創出がより一層重要になっています。									
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		事業費		5,091	3,610	4,320	252				
		国庫支出金		2,400	2,400	1,200	0				
		市債									
財源内訳	その他特財										
	一般財源		2,691	1,210	3,120	252					

計画 (Plan)	
事業の目的	武蔵小杉駅周辺地域の住民、企業等を対象としたコミュニティ形成支援の取組を行います。
今年度の事業の取組内容	本地域のコミュニティの課題解決に向けた取組の実施、地域の居場所づくりや魅力づくりをテーマとしたプロジェクトの実施、公共空間の活用に関する取組の実施。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・武蔵小杉を題材にしたお絵かきコンテストや人材交流会を商業施設と連携して実施、地域で活躍する人材を活用した講演会などの開催 ・小杉駅周辺の地域課題やコミュニティ形成に関する検討会議の開催(コスギコミュニティ推進会議の開催:1回、武蔵小杉エリアプラットフォーム全体会への参加:2回)、本地域のコミュニティの課題解決に向けた取組の実施、地域の居場所づくりや魅力づくりをテーマとしたプロジェクトの実施、公共空間の活用に関する取組への支援(単発の市道小杉町21号線の社会実験ではなく、日常的な公共空間の利活用を目的としたコアパークでの社会実験への支援を実施)等								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	目標							
			実績							
		2	目標							
			実績							
3	目標									
	実績									
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		近年の台風被害などで地域のイメージダウンを経験したことにより、さらなる魅力づくりや地域の愛着づくりに向けた取組が重要性を増しています。また、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、人と人や、地域のつながりを維持することが難しくなるなど、コミュニティの在り方が変化している状況の中、地域における居場所づくりや居心地よく暮らしやすいまちなか空間の創出がより一層重要になっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		小杉駅周辺地区都市再生整備計画事業に関し、公共空間の利活用について、国庫補助(まちなかウォーク推進補助金)を活用。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、コミュニティの在り方が変化している状況の中、地域の愛着形成に向けた取組は重要性を増しています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域で活躍するプレイヤーとの連携が進んでおり成果が上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	既に事務改善等を実施し、効率的効果的な事業を実施しています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 社会環境の変化は劇的かつスピーディであるため、今後も効率的効果的に事業が進められるよう事業の執行方法を柔軟に見直し改善しながら進めていきます。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小					
11	01	04	26	05	45	区民祭開催経費				
担当			所属コード			所属名			担当者	連絡先
			651600			まちづくり推進部総務課			稲葉	63112

事業の概要									
事業の概要		「心のふれあう ふるさと中原」をテーマに、地域団体等から成る実行委員会が中原区民祭を開催し、区民相互のふれあいの深まりを目指します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		昭和54年度		—					
地域の課題と現状		区では武蔵小杉を中心とした再開発が進み転入者が増加しており、以前からの地域住民と新しく中原区民となった住民の交流の場の創出や、それによる地域コミュニティの活性化が課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	815	815	236	236				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	815	815	236	236				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭を通して、区民同士がふれあい、交流することを目指します。
今年度の事業の取組内容	実行委員会・専門部会により企画検討し、実施規模の見直し等を行いながら、中原区民祭を開催します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		令和5年10月15日(日)に等々力緑地において中原区民祭を開催することができたが、雨天で予定されていた催しの一部が中止となったこと等により、客足が遠のいてしまい、目標としていた来場者数を下回ってしまった。								
数値で把握することが可能な取組	1	活動指標	中原区民祭の開催(来場者)	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
				目標	実績	40,000	30,000			
	2				目標	実績				
					目標	実績				
	3				目標	実績				
					目標	実績				
4				目標	実績					
				目標	実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区への転入増が続き区民同士のふれあいの場が求められています。また、会場となる等々力緑地において再編整備が進められており、6年度には全国緑化フェアが同時に開催されるため、会場のレイアウト等に大幅な変更が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		様々な制限の解除に伴い、5年振りのフル開催となりました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内最大のイベントとして定着しており、区民の転入増が続いていることからニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	5年振りのフル開催となり、出店・展示等の申込みも多かつたため、晴天であれば更なる集客増が見込める。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	会場設営等に係る仕様の見直し等により、経費削減に努めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 経費削減や事務手続きの見直しを進めながら、事業の目的や方向性を維持して継続していくことが適切であると考えられます。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
11	01	04	26	10	05	中原区安全・安心まちづくり推進事業費		
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			650000		危機管理担当		岩佐	63355

事業の概要										
事業の概要		区民、地域団体、行政機関などが連携し、安全マップづくり、防犯パトロール講座の実施、パトロール用品の貸与等により、自主防犯活動の活性化、地域の防犯力及び意識の向上を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心まちづくり事業					
地域の課題と現状		日々の社会情勢が変化するとともに、特殊詐欺の手法も変化しており、地域の安全確保に向けて地域住民、関係団体、事業者、消防及び行政等が連携して啓発活動に取り組むなど、地域全体での活動を推進し、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		1,000	1,000	1,000	1,000					

計画 (Plan)	
事業の目的	地域で発生する各種犯罪(自転車盗、空き巣、ひったくり等)に区民が巻き込まれることなく、安全で安心して暮らすことができるまちづくりの推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	防犯キャンペーン、見守り活動、子どもを対象とした安全マップづくり、防犯パトロール実践講座等の実施を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		・防犯キャンペーン、見守り活動の実施(21回)・安全マップづくりの実施(6回)・防犯パトロール実践講座(2回)※実施回数が目標より少なくなっているが、2回中1回の開催時に2町会合同で開催のため実質3回実施。 以上の取組内容の実績より、防犯パトロール実践講座の実施回数が、開催希望の町内会と講師のスケジュールが合わなかったこと等の理由により目標回数を下回っておりますが、地域で行う防犯キャンペーン等の実施に積極的に参加協力したことや、安全マップづくりを目標回数を上回って実施したことにより、事業目的を一定程度達成したと考えられます。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	防犯パトロール実践講座	目標	5	5			回	
				実績	3	3				
	2	活動指標	安全マップづくり	目標	5	5			回	
				実績	4	6				
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	中原区内の犯罪総件数がR5年中は、前年比約1.3倍の491件と増加しているが、主に自転車盗が増えていることによるものが大きい。また、県内の特殊詐欺被害についてもR5年は2,024件、約45億円と件数は前年比微減となるが、被害金額は前年比増となっている。以上のような状況もあるので、今後も継続的かつ柔軟な防犯対策が必要と考えられます。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	中原区職員における、青色防犯パトロールの実施強化済。(実施可能職員:50人増。実施可能車両2台→15台)

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	R4年度区民アンケートの力を入れて欲しい区役所の業務において上位に防犯対策が入っており、またR5年度中原区内の犯罪総件数が前年比増となる状況もあるので、依然ニーズは高いものと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防犯パトロール実践講座の実施回数は目標に達しませんでした。日程調整等を工夫して複数町内会合同で開催したことや、安全マップづくりの実施回数が目標を上回ったことにより、一定の効果は保持できたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	10	中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		幸田	63362	

事業の概要									
事業の概要		「中原区ガイドマップ」(安心マップ)を作成して転入者を中心に地域住民に配布することにより、避難所、給水拠点、帰宅困難者一時滞在施設などの災害時に必要な情報や区の基本情報を速やか且つ的確に把握できるようにし、安全・安心のまちづくりの推進を図るとともに、生活に有用な様々な情報を掲載して区民生活の利便性の向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業			
		—	—						
地域の課題と現状		災害時の安全・安心については多くの区民が関心を抱いており、地域の安全確保に向け避難所などの防災情報や公共施設などの基本情報を広く周知する必要があり、また高齢化社会の到来など社会状況が多様化していく中、インターネット環境がない場合でも速やかに確認できる配布物の作成は現在も必要性が高い状況です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	910	858	990	968				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	279	280	287	280				
	一般財源	631	578	703	688				

計画 (Plan)	
事業の目的	転入者や地域住民に広く「中原区ガイドマップ」を配布することにより、最新の防災情報や行政情報などの速やか且つ的確な把握を容易にすることで、安全・安心のまちづくりの推進を図るとともに、区民生活の利便性の向上を目指します。
今年度の事業の取組内容	最新の情報を掲載したガイドマップを作成し、区役所区民課窓口にて転入者に配布するとともに、区内公共施設等に配架して地域住民等に広く配布してまいります。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		区ガイドマップを25,000部作成。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	成果指標	「中原区ガイドマップ」の作成	目標	25,000	25,000			部	
				実績	25,000	25,000				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		災害時の安全・安心には多くの区民が関心を抱いており、高齢化社会の到来など社会状況が多様化していく中、地域の安全確保に向け、防災情報や公共施設の基本情報を周知していくことは喫緊の課題であり、また、近年の生活様式の変化により地元生活圏内への関心がより高まるなど、今後も継続した取組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直直) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内への転入者は毎年一定数以上いるとともに、地域住民や区内外の公共施設、行政窓口からのニーズも高いため、必要性は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	最新の防災情報や行政情報を広く周知するツールとして活用され、安全・安心のまちづくりの推進や区民の利便性が図られたと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市民に有用で利便性の高い媒体物を一定部数作成するためには、現状での予算規模を確保した上で、仕様や事務手続きの手法を随時見直ししていく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区民の生活に密着する防災情報や行政情報等を広く周知することは、近年の台風被害や地震などの状況を踏まえ、喫緊の課題である安全・安心のまちづくりの推進及び区民の利便性の向上を図るための大変重要な取組みであり、現状の事業内容を維持して取り組んでいく必要があります。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	15	案内サイン情報更新事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		森田	63123	

事業の概要									
事業の概要		小杉駅周辺再開発等の進捗に合わせた案内サインの地図面等の情報更新を実施するとともに、外国人訪問者の増加に対応するためサインの多言語化等の検討を進め、区民や来街者の利便性向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺の再開発事業や等々力緑地再編整備事業等により、令和5年4月1日現在、50箇所72基38面の案内サインが設置されていますが、再開発事業の進捗等により、地図・案内文字情報の内容と現状との乖離が生じています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	990	989	988	988				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	990	989	988	988				

計画 (Plan)	
事業の目的	最新の地図面等に更新することにより、来街者の利便性を向上させます。
今年度の事業の取組内容	小杉駅周辺再開発等の進捗等に合わせた案内サインの地図面や案内表示文字の情報更新を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		JR武蔵小杉駅の綱島街道改札の供用開始や再開発事業の動向を把握するとともに案内サインの現地確認を行い、地図の張替えや補修等を委託により実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標				
					実績				
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
					実績				
	4				目標				
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		小杉駅周辺再開発等の進捗に合わせて、案内サイン地図面や文字情報の更新が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	小杉駅周辺の開発事業の進展に伴い、来街者は増えており、来街者の円滑な誘導のため、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	図面や案内表示文字を現地確認し、予算の範囲内で順次情報更新しており、成果は上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現地確認することで、部分的な修正に留めるなど、情報更新内容を絞り込むことで、経費削減を図っています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 次年度以降も再開発等の進捗があり、案内表示との整合を図ることが必要な状況であることから、案内サインの劣化の状況等も踏まえ、事業を引き続き継続します。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	25	中原区放置自転車対策事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			656000		中原区役所道路公園センター		田中	73521	

事業の概要									
事業の概要		自転車等の放置防止に関する条例(以下「自転車条例」という。)に基づき、歩行者や自動車等の安全な通行の妨げとなり、街の美観を損ねている放置自転車の撤去をすると共に、自転車利用者の駐輪マナー・モラルの向上を目指し、駅前や商店街で放置自転車防止の啓発活動の実施を行います。 放置禁止区域の周知及び駐輪場への誘導を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業費			
地域の課題と現状		自転車条例の施行の経過及び平成29年度に中原区内全駅周辺において放置禁止区域に指定したことにより、区民への周知が浸透し、ある一定の放置自転車数は減少したが、一部特定駅周辺地区においては、依然放置自転車が見受けられます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R05年度		R06年度		R07年度		R08年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	222	207	221	206				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	222	207	221	206				

計画 (Plan)	
事業の目的	道路上における自転車等の放置による危険又は障害を除去することにより、歩行者等の通行の安全及び災害時における緊急活動場確保を図り、併せて市民自らが自転車等の適正な駐輪秩序の確立に努めるとともに、安全で住みよい生活環境を維持し、向上させることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	放置自転車の撤去を行うとともに、駅前や商店街での放置自転車防止の啓発活動を実施します。 放置禁止区域の周知及び駐輪場への誘導をします。 放置自転車の多い場所について個別対応を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		交通安全対策協議会との共同実施による放置自転車防止の運動や、各種イベントでのポスター掲示等の啓発活動を行い、幅広く自転車利用者へマナー向上の啓発活動を行いました。 一部放置自転車が解消していない場所について、中原警察署交通課と連携して放置対策を行うなど放置自転車数を減少させることが出来ました。また、受託者と連携して陳情対応や啓発活動を行うなどの放置対策を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
実績										
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		自転車条例の施行後、これまでの継続した各地区での活動や、中原区内全駅周辺が放置禁止区域に指定したことに伴い、区民への周知が浸透し、ある一定程度の放置自転車数は減少しましたが、武蔵小杉駅周辺の再開発等に伴う転入者もあることから、日々の自転車撤去や駅周辺での啓発活動の継続が重要となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		自転車等放置禁止区域を対象に、令和5年度から「川崎市放置自転車等総合対策業務委託」が開始されました。令和5年12月から横須賀線武蔵小杉駅新設改札口へのルートを自転車放置禁止区域に指定し、放置自転車対策を行いました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内各駅周辺に自転車が放置される現状があり、放置された自転車に関する撤去の陳情も受託者から報告があります。提供された情報への対応の必要性は高く、事業を継続することで、区民への周知、駐輪モラルの維持と向上が図られます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	放置自転車撤去台数は、緩やかな減少傾向にあります。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	令和5年度から自転車等放置禁止区域を対象に、「川崎市放置自転車等総合対策業務委託」として一括委託が導入され業務の効率化、市民サービスの向上が図られました。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		歩行者や自動車等の安全な通行の妨げとならないように、自転車利用者の駐輪マナー・モラルの向上を目指し、駅前や商店街で放置自転車防止の啓発活動の実施を行います。 中原区は人口が増加しており、特に小杉地区などは転入者の割合が比較的高いことから、啓発活動により対応していく必要があります。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	30	交通安全教室開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			650000		危機管理担当		岩佐	63355	

事業の概要									
事業の概要		区民を対象としたスケアード・ストリート方式(スタントマンによる交通事故の再現)を取り入れた交通安全教室を開催し、安全で確実な自転車の乗り方等のルール・マナーを習得させることにより、交通事故の防止を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業			
		—	—						
地域の課題と現状		中原区内における人身事故件数は減少傾向ですが、人身事故件数に占める自転車事故件数の割合が高く、令和5年度も神奈川県自転車事故多発地域に指定されています。また、自転車によるフードデリバリーサービスが増加していることから、自転車配達員に対する交通ルールやマナーの徹底を行う必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,375	985	1,381	1,320				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,375	985	1,381	1,320				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民を対象とした交通事故防止に効果的な交通安全教室を実施し、交通事故の加害者、被害者にならないよう交通安全教育・啓発を行い、交通事故の削減を図ります。
今年度の事業の取組内容	中学生及び高校生を対象とした教室の実施に加え、成人全般を対象とした教室については、小学校の授業参観日や学校イベント等を活用し実施します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		スケアードストリート方式の交通安全教室について、中学生2回、高校生2回、成人1回の計5回実施を計画しました。中原区民祭での実施が雨天により中止となったため、中学生を1回増やし(成人を同時に実施)、結果、高校生2回、中学生3回の計5回実施しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	スケアードストリート方式の交通安全教室	目標	5	5			回	
				実績	4	5				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		自転車によるフードデリバリーサービスが増加したことに伴って、自転車運転マナーの悪化、ルール違反、区内自転車事故の増加傾向などが社会問題とされており、自転車事故削減に向けた取組が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	自転車運転マナーの悪化、ルール違反などが社会問題とされており、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がったことで、計画通りに実施できる学校が増えてきています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実施回数は現状を維持し、対象者に合わせた柔軟性のある内容にしつつ、会場側の協力を得るなどして地域住民の参加の機会を増やし、広く区民の参加を促すよう改善を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 実施場所や内容を見直すことにより、対象者を広げられる可能性があるため、目的や方向性は維持し、見直し・改善を図りながら、継続することが適切であると考えます。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	35	地域防災力強化事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			650000	危機管理担当		大村	63354		

事業の概要											
事業の概要		<p>熊本地震や令和元年東日本台風、今後想定される首都直下地震・南海トラフ地震などを踏まえ、区民一人ひとりの防災意識の向上や、近隣住民が助け合う関係の構築、各種関係団体・機関、民間企業、学校などの連携協力体制づくり、これらを支える行政機関の活動など、自助、共助や公助による地域の総合的な防災力の向上を図ります。</p>									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業			
		—		—							
地域の課題と現状		<p>・中原区は、駅周辺に大型高層住宅が立ち並ぶ一方で木造住宅密集地域が混在するまちで、出生や子育て世代の転入による人口増加をはじめ、様々な面から地域防災力の強化が求められます。</p> <p>・中原区には、土砂災害警戒区域があり、また、多摩川と鶴見川に挟まれた地形的な特徴を持つことから、令和元年東日本台風の被害・避難状況を踏まえ、風水害に対する適切な避難や日頃からの備えについて、マイタイムライン等の作成を啓発する必要があります。</p> <p>・武蔵小杉駅は、6路線が交わるターミナル駅であり、震災等が発生し鉄道の運行が停止した際は、駅周辺に約6,000人の滞留者が出るのが想定されていることから、エリア防災計画に基づく帰宅困難者対策の取組を進めています。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症のまん延により、十分な実地訓練が行えなかった事情を踏まえ、実地訓練の不足を補うなど、自主防災組織や避難所運営会議をはじめとした各種団体や区民に対して、支援を行う必要があります。</p>									
予決算 (単位:千円)		年度		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		事業費		370 338		3,626					
		財源内訳									
		国庫支出金									
		市債									
		その他特財									
		一般財源		370 338		3,626					

計画 (Plan)	
事業の目的	<p>自主防災組織や避難所運営会議をはじめとした各種団体や区民に対して、近年の異常気象による風水害や首都直下地震等に備えるため、自助、共助や公助による地域の総合的な防災力向上を図ります。</p>
今年度の事業の取組内容	<p>・自主防災組織や避難所運営会議の活動支援、中原区防災連携協議会部会の開催、武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策としての情報受伝訓練及び一時滞在施設開設訓練、ぼうさい出前講座などの啓発活動の実施</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響で、自主防災組織の訓練及び避難所開設訓練が十分行えなかったことから、実地訓練の不足を補う内容を加えた各種訓練の実施</p>

実施結果 (Do)															
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等		<p>・避難所運営会議を21回開催(会議の開催に向け、未開催の避難所運営会議への支援を積極的に行ったが、コロナ禍による会議の空白期間やメンバー変更によりノウハウの継承がされず会議開催に至らなかったため目標を下回った。)</p> <p>・中原区防災連携協議会部会を4回。全体会を1回開催(福祉部会は他の会議体及び通常業務で連携しているため未開催、運輸・輸送部会は全庁的な課題があり区単独での議論は難しいため未開催となり目標回数を下回った。)</p> <p>・ぼうさい出前講座を18回実施</p>													
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指標		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		単位	
		1 活動指標		避難所運営会議の開催		目標 29		29						回	
				実績 20				21							
		2 活動指標		区防災連携協議会部会の開催		目標 6		6						回	
				実績 2				4							
		3 活動指標		ぼうさい出前講座の開催		目標 1		5						回	
				実績 24				18							
		4				目標									
						実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		大規模震災や風水害、及び異常気象などが引き起こす新たな危機事象にも対応できるよう、地域の防災力を更に高めていく必要があります。また、関東大震災から100年の節目を迎え、震災に対する意識啓発、地震に対する備え、自助・共助の取り組みの啓発を行う好機となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		<p>関東大震災から100年のため、地震に対応特化した総合防災訓練の実施や、新型コロナウイルスの感染状況により停滞していた避難所運営会議に開催に向けて積極的な動きかけを行った結果、開催数が増加しました。</p>	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	関東大震災から100年、能登半島地震などにより、地震に対する防災意識は向上しています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	避難所運営会議の開催数については、書面会議を含め全避難所での開催し、防災連携協議会も令和4年度より回数が増加しました。防災出前講座は地域団体等の申請に基づく実施のため、開催数が前年度を下回りました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	<p>地域防災力の強化については、各活動主体の自主的な活動を育む必要があるため、現状の手法等を継続し職員が地域と良好な関係を築き、直接的な支援を行うことが効果的であると考えます。なお、地域防災活動への支援については、地域の様々なニーズに合わせて対応する必要がありますが、効率性の判断に対し適正な規模を設定することは困難と考えます。</p>	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<p>I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了</p>	<p>II</p> <p>今後においても、様々な危機事象に対して柔軟に対応できるよう、様々な視点を取り入れながら、これまでの事業を継続し、地域の防災力のさらなる強化を図ります。</p>

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	20	中原区総合子どもネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要										
事業の概要		中原区における総合的な子育て支援を推進するため、子ども、子育て支援関係者によるネットワーク組織を形成し、情報交換及び連携を通じて様々な子ども・子育て支援活動を展開するとともに、行政と区民が協働で環境の変化に応じた新たな子ども・子育て支援策の実施に向けた取組を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業				
		—	—							
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺の再開発等による子育て世代の増加などにより、地域包括ケアシステムの考え方にに基づき、地域で子ども・子育て支援が必要となっています。そのため、子ども・子育て支援に関する区民や関係団体・機関の意識の向上、人材のスキルアップ、地域全体の子ども支援や子育て力の向上が必要となっています。さらに、こども文化センターの施設を活用し、就学後の児童が地域の人々や世代間の交流を経験するとともに、安心して過ごすことができる居場所づくりが必要となっています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,891	2,524	3,033	2,731					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		2,891	2,524	3,033	2,731					

計画 (Plan)	
事業の目的	年間を通じて開催するネットワーク会議において、子どもに関わる課題を共通認識し、情報の共有化と相互協力を図る。
今年度の事業の取組内容	総合子どもネットワーク会議の開催。なかはら子ネット通信の隔月発行。子育てグルーリーダー交流会の実施。なかはら子ども未来フェスタの開催及び関連する取組の継続実施。子育て支援ボランティア交流、研修等を開催。ミニケロ子育ておしゃべり広場の開催、「ミニケロはっぴいダンス!」の普及啓発等。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		総合子どもネットワーク会議を2回実施、中原区子育てガイドブックは年1回、なかはら子ネット通信は6回発行、11月に民間商業施設や地域の子育て関連団体と連携し、なかはら子ども未来フェスタを開催。その他、子育てグルーリーダー支援の交流会、子育て支援ボランティアに係る交流・研修、ミニケロ子育ておしゃべり広場等を実施。ミニケロ子育ておしゃべり広場は、実施希望日に会場が確保できなかったため1回実施できず、目標実施回数を下回った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	なかはら子ネット通信の発行	目標	6	6			回
				実績	6	6			
	2	活動指標	なかはら子ども未来フェスタの開催	目標	1	1			回
				実績	1	1			
3	活動指標	ミニケロ子育ておしゃべり広場の開催	目標	20	20			回	
			実績	21	19				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> R1 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		総合子どもネットワーク会議子ども支援部会における活動の見直しにより令和元年度からこども文化センターモデル事業(ゴーゴーきつず)を中止しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため、子ども・子育て支援は重要な取組と位置付けられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	総合子どもネットワーク会議において情報交換がされ、地域の子ども・子育て支援につながっています。また、なかはら子ネット通信の発行や、なかはら子ども未来フェスタなど着実に事業を実施しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後も会議での話し合いにより、開催の方法、効率的な事業の進め方や事務手続きの簡素化などを検討し、改善を図ります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 今後も会議内での話し合いや総合子どもネットワークに属するメンバー等との対話を通じて、よりよい会議体となるように工夫、検討していきます。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	30	中原区子育て支援推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要										
事業の概要		転出入が多く、核家族化等で地域の中でのつながりが希薄になっている中原区では、孤立して子育てに不安を抱える保護者が増えている。社会福祉協議会と連携し、民生委員・児童委員を中心に地域で開催している親子の集いの場「子育てサロン」を支援することにより、区内で子育てをする親子の仲間づくりや居場所づくり等の促進を図り、子育てのしやすい地域コミュニティづくりを推進します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども支援事業		
		—		—						
地域の課題と現状		転出入が多く、核家族化等で地域の中でのつながりが希薄になっている中原区では、孤立して子育てに不安を抱える保護者が増えているため、区内で子育てをする親子の仲間づくりや居場所づくり等の促進を図り、子育てのしやすい地域コミュニティづくりが必要となっています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,491	1,669	2,309	1,651					
	財源内訳									
	国庫支出金									
	市債									
	その他特財									
	一般財源	2,491	1,669	2,309	1,651					

計画 (Plan)	
事業の目的	事業委託や実行委員会の開催、研修等を通じ、地域で開催している親子の集いの場「子育てサロン」を支援することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	中原区子育て支援推進実行委員会へ委託し、区内15か所の子育てサロンへの運営支援。中原区子育て支援推進実行委員会を通じ、ボランティアが区内で開催している「子育てふれあい広場」への支援。子育てサロンの従事者向け研修の実施。中原区子育て支援推進実行委員会全体会を年2回(6月・3月)、運営部会を年4回開催。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		区内15か所の子育てサロン及び子育てふれあい広場の運営支援。(子育てサロンの開催回数については、各サロンがより多くの日程で開催できるよう、定期的に運営部会を開催し、運営などのアドバイスや好事例の共有等をしたことにより目標を上回ることができた。)子育てサロンの従事者向け研修の実施(3月)、中原区子育て支援推進実行委員会全体会を年2回(6月、3月)実施、運営部会を年4回実施								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子育てサロン開催回数	目標	123	170				回
				実績	171	208				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世代が増加している中原区において、地域のボランティアが運営する子育てサロンは引き続き重要な場となっており、その支援も必要なものとなっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	感染症の影響もほぼなくなり、目標で定めた子育てサロンの開催回数を上回りました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	子育てサロンを地域で運営するに当たっては、従来のやり方にとらわれない手法等も検討し効率的な実施を定期的に検討する必要があると考えられます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子育て世代が増加している中原区において、仲間づくりや居場所づくりの場として機能できています。また、親子の引きこもりや虐待の予防にもつながると共に地域包括ケアシステムを推進していく上で、「互助」としての機能も果たしているため。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	35	中原区子育て情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			星野	63805

事業の概要									
事業の概要		子育て中の世帯に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供するため、ホームページや、「子育て情報ガイドブック」や「地域子育て支援センター等紹介リーフレット」等を作成します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		中原区は出生数、子育て中の世帯の転出入が共に多くなっており、地域に馴染みがなく孤立する恐れがある子育て中の世帯に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供し、中原区での子育てを円滑かつ充実したものにする必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,729	1,556	1,719	1,605				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	1,729	1,556	1,719	1,605				

計画 (Plan)	
事業の目的	ガイドブックやリーフレットを作成することで子育て中の方に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供する
今年度の事業の取組内容	中原区子育て情報ガイドブックの作成、子育て情報等紹介リーフレットの作成、子育て施設マップの作成

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・中原区子育て情報ガイドブックの作成(9,000部) ・子育て情報等紹介リーフレットの作成(10,000部) ・子育て施設マップの作成(17,000部)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	中原区子育て情報ガイドブックの作成			目標 9,000	9,000			冊
					実績 9,000	9,000			
	2 活動指標	子育て情報等紹介リーフレットの作成			目標 10,000	10,000			冊
					実績 10,000	10,000			
3 活動指標	子育て施設マップの作成			目標 17,000	17,000			冊	
				実績 17,000	17,000				
4				目標					
				実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため子育て情報の提供は重要な取組となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	出生時や転入時に配布している子育て情報ガイドブックは区独自のキャラクター等載せるなどデザインに工夫を凝らしながら、多様な子育て情報掲載するなど有効に子育て情報を提供できていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ガイドブックやリーフレット、マップの掲載情報を精査し、類似の事項は省略する等、より効率的に作成できる可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き、ガイドブックやリーフレット、マップの掲載情報を精査し、類似の事項は省略する等、より効率的に作成するよう検討します。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	40	中原区子どもの発達支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課		三青・小倉	63814	

事業の概要									
事業の概要		発達に何らかの課題のある子どもをもつ保護者に対して、発達の理解を得るための情報提供を行い、子どもへの対応スキルの向上や、保護者同士の相互理解の推進を図ります。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的なこども支援事業	
		平成21年度		—					
地域の課題と現状		子どもの発達支援にかかわる関係機関は保育園、幼稚園、小学校、中学校といった児童の所属機関から、地域みまもり支援センターや療育センター、総合教育センターといった専門機関まで幅広く、発達に課題のある児の把握と支援及び保護者の支援について様々な課題を抱えています。支援機関同士の情報共有やネットワークの構築が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	878	867	906	863				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	878	867	906	863				

計画 (Plan)	
事業の目的	発達に課題を持つ児の保護者が、セミナー等の参加により子どもへの対応スキルを学ぶとともに、関係機関同士のネットワーク構築により、子どもの発達支援向上のための切れ目のない支援を提供します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前セミナー「子どもの発達支援セミナー」の開催(年9回)</li> <li>・委託事業者による就学後セミナー「保護者ミーティング」の開催(年7回)</li> <li>・発達支援ネットワーク会議の実施(年1回)</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前セミナー「子どもの発達支援セミナー」の開催(年9回)</li> <li>・委託事業者による就学後セミナー「保護者ミーティング」の開催(年7回)</li> <li>・発達支援ネットワーク会議の実施(年1回)</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	子どもの発達支援セミナーの実施	目標	9	9			回	
				実績	9	9				
	2	活動指標	保護者ミーティングの実施	目標	7	7			回	
				実績	7	7				
3	活動指標	発達支援ネットワーク会議の実施	目標	1	1			回		
			実績	1	1					
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		「発達障害」が社会的にも広く認知されるようになりましたが、児童への支援のみならず、保護者支援の充実も求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	発達に課題を抱える児童を把握する機会が増えており、相談ニーズは高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	セミナーなど参加した保護者のアンケートからも成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	すでに平成29年度からセミナーは検討会のメンバーによる実施とする等、経費が削減されています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 いずれの事業も、発達支援検討会の参加機関の委員やスタッフの協力により開催しました。今後も事業内容が充実していくよう、工夫や見直しを行いながら継続していきます。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	45	中原区子育て支援者養成事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要									
事業の概要		区民の子育てへの理解を深めると共に、子育て支援に関心のある方を子育て支援者として養成し、ミクロ子育ておしゃべり広場や子育てサロン等、地域における子育て支援の活動の場につなげることで、地域での支援者層の拡大と、支援者の力量の向上を図ります。また当講座を通じて子育て支援の場を支える新たなボランティアを育成し、地域全体が子育てを応援していく体制づくりを推進していきます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども支援事業	
		—		—					
地域の課題と現状		中原区は、子育て中の親子の転入が多く、居住年数が短い中での出産が多いという中で、子育ての不安や地域からの孤立を解消し虐待等を予防するために、地域の子育て支援の力を高めていく必要があります。また、子育てサロンなど、ボランティアが中心となって運営されている子育て支援の場の多くは、ボランティアの人数不足が恒常的な課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	757	757	783	757				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	757	757	783	757				

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て支援に関心のある方を子育て支援者として養成し、ミクロ子育ておしゃべり広場や子育てサロン等、地域における子育て支援の活動の場につなげていきます。また新たなボランティアを育成し、地域全体が子育てを応援していく体制づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	子育て支援者養成講座(区民50名対象 全5回講座 対面とオンラインの2コース)

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		子育て支援者養成講座の開催(1コース)【対面とオンラインで各5回連続講座で開催するとともに、フォローアップ講座2回およびボランティア情報冊子作成、配布】								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	子育て支援者養成講座の開催	目標	10	10			回	
				実績	12	12				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築のため、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世代の増加している中原区において、子育て支援の場は引き続き重要な場となっており、そこで活動するボランティアの資質向上や育成は重要となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	講座の内容、開催手法を工夫することで希望者が参加しやすく、「自分でもやってみよう」という自発性の促進に、少なからず貢献していると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	より効果的な講座となるよう、周知の方法や契約の仕様等について改善の可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 子育てサロンやミクロおしゃべり広場など地域での子育て支援の場を支えるボランティアの育成は安心して暮らすことができるまちづくりとして重要であるため、手法等を見直しながら引き続き実施します。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	05	中原区地域包括ケアシステム推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			星野	63805

事業の概要									
事業の概要		川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンや中原区地域福祉計画に基づき、地域福祉の普及啓発及び活性化のためのワークショップの開催や地域のつながり、居場所づくりを目指した取組等により、支え合える地域づくりを行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域福祉活性化事業			
		—	—						
地域の課題と現状		支え合いの最小単位である家族の構成人数が減っている中、子育て世代も一人暮らしの高齢者も孤立せずに地域で過ごすことができるように、あらゆる世代の人と人が、橋のようにつながる必要があります。また川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき、第6期中原区地域福祉計画(令和3～5年度)に即して、地域福祉の情報発信や普及啓発を通して、地域とのつながりの推進を目指します。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	709	587	1,109	890				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	709	587	1,109	890				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域福祉の情報発信や普及啓発を通して、子ども、高齢者、障害者が安心して地域で暮らし続けられるよう取組を進めます。
今年度の事業の取組内容	地域福祉の普及啓発及び活性化のための話し合いの場や講座等の開催および、その後の具体的な活動への働きかけ等の伴走支援を通じた地域のつながり、居場所づくりを目指した取組

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		地域での対話(意見交換)の場の開催【ご近所さんぽの取組をツールとして地域活動団体と地域のつながりづくりの重要性について対話(22回)】、地域活動団体や企業、区社協中原区社会福祉協議会と連携したオンライン体操の実施(11回)、地域包括ケアシステムネットワーク会議の開催(1回)、地域マネジメント推進プロジェクトによる分野横断的な庁内体制の構築(9回)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	地域での対話(意見交換)の場の開催	目標	11	22			回	
				実績	20	22				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代も一人暮らしの高齢者も孤立せずに地域で過ごすことができるよう、地域のつながりや居場所づくりを目指した取組等による、支え合える地域づくりが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	推進ビジョンでの土台づくり期からシステム構築期に入り、地域包括ケアシステムの推進は今後さらに重要となります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域の方との対話を重ねることで意見等が集約され、地域の自助・互助の取組支援に繋がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	第7期地域福祉計画、コミュニティ施策などと連動しながら、より効果的に促進できる手法等を検討します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続き川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンや第7期川崎市地域福祉計画に沿って、事業を推進します。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	10	なかはら福祉健康まつり実施事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		星野	63805	

事業の概要										
事業の概要		「であい、ふれあい、ささえあい」をテーマに、区内で福祉や健康に関わる活動をしている団体やボランティア等が参加して、日頃の活動の発表や展示、体験型イベントを通し、区民に福祉や健康への理解を深めてもらうとともに、参加団体の交流の場として「なかはら福祉健康まつり」を実施します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域福祉活性化事業		
		—		—						
地域の課題と現状		第6期地域福祉計画(令和3年～5年度が対象年度)や、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき、福祉や健康への理解・関心を深めるとともに、市民や団体同士の交流を通して、地域福祉や健康活動のネットワークづくりを推進する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	708	0	1,042	1,042					
	財源内訳									
	国庫支出金									
	市債									
	その他特財									
	一般財源	708	0	1,042	1,042					

計画 (Plan)	
事業の目的	「なかはら福祉健康まつり」を開催することで、福祉や健康への理解・関心を深めるとともに、市民や団体同士の交流を通して、地域福祉や健康活動のネットワークづくりを推進することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	11月に福祉健康団体等で構成される実行委員会による「なかはら福祉健康まつり」を開催します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		令和元年度の開催以来、福祉健康まつりを中原区役所を会場として開催しました。令和5年度は新たな参加者の招待や芝生広場を活用した催しのほか、パリアフルレストラン体験などを設け、過去最高の1500人の方々に来場いただきました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	福祉健康まつりの開催	目標	1	1				回
				実績	0	1				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)										
事業を取り巻く社会環境の変化		第6期地域福祉計画(令和3年～5年度が対象年度)や、高齢者、障害者、子どもなどすべての方を対象とした川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき事業を推進する必要があります。								
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)								
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載										
評価項目							評価			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている		a	
	評価の理由		地域福祉への理解やネットワークづくりにつながり地域包括ケアシステムの推進に寄与するため。							
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない		a	
	評価の理由		令和元年度ぶりに福祉健康まつりを開催しました。							
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある		b	
	評価の理由		区民の実行委員会による運営のため、協働という形を保ちつつ、費用対効果を含めた改善余地はあると考えています。							

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域の福祉と健康に関する啓発や地域活動や健康活動のネットワークづくりが更に効果的に行われるように開催内容を検討し、感染症等、社会情勢を鑑みながら見直し・改善のうえ実施していきます。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	25	中原区地域交流活性化事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課			掛川	63814

事業の概要									
事業の概要		地域毎の交流の場やそれを支えるボランティア活動等を掲載したリーフレットを作成・配布して、誰もが安心して地域で暮らし続けることができるよう、高齢者の外出や社会的交流を目指します。							
実施期間		事業開始年度 令和2年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域福祉活性化事業	
地域の課題と現状		支えあいの最小単位である家族の構成人数が減っている中、高齢者が元気なうちから地域での活躍の場やつながりをもつ必要があります。健康づくりや介護予防の視点の他、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づく第6期中原区地域福祉計画(令和3年～令和5年度)に即した情報発信や普及啓発を通して、地域のつながりの推進を目指します。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	423	124	179	139				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	423	124	179	139				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域資源に関する情報発信により、高齢者の地域活動への参加やセルフケアの意識醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	各地区で行われている地域の交流の場やそれを支えるボランティア活動等を掲載した「おでかけマップ情報一覧」を作成・配布する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		区内関係機関36箇所へ「おでかけマップ一覧」を合計6220部配布した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	リーフレットの配布先箇所数	目標	36	36			箇所
				実績	38	36			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類相当となり外出の機会が増加しました。それに伴い高齢者の通いの場も増加傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	外出自粛が続きましたが、今後規制緩和により外出機会が求められ情報発信の必要性がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	リーフレットの配布について問い合わせ機会が増えているため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区内活動団体の増加を見込み、ページ数の増加があることも考えられるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	中原区内の活動団体を把握し、各活動を区内高齢者へ向けて周知することができました。新型コロナウイルス感染症の5類化により、ますます外出機会が求められることが予想されるため、工夫や見直しをしながら継続します。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	05	区民の手で花いっぱい中原事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		稲葉	63356	

事業の概要									
事業の概要		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることを目的に、区民との協働により、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理を行うとともに、区民に対して親子花植体験や講習会等を実施します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいきます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,720	1,643	1,920	1,859	1,920			
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,720	1,643	1,920	1,859	1,920			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理を行うとともに、区民に対して親子花植体験や講習会等を実施することで、地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図る。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●花クラブ実行委員会との協働による、区役所や武蔵小杉、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽と維持管理の実施</li> <li>●花クラブ実行委員会との協働による、花壇を活用した地域の魅力発信に資する活動</li> <li>●公共花壇等に花植えを行う団体に花苗を配布</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内5箇所の公共花壇への植栽及び維持管理の実施</li> <li>・委員の技術や知識向上のため、講習会を実施</li> <li>・地域の子どもを対象とした花植え体験講座の実施</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	花の植替え	目標	2	2			回	
				実績	2	2				
	2	活動指標	花の配布会	目標	1	1			回	
				実績	1	1				
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		チラシや市政だより、花壇上での表示の活用、講習会の開催などを通し、事業周知を図るとともに、新規委員の獲得を図っている。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	景観向上による区のイメージアップ効果は依然として高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所や駅周辺の公共花壇への植栽・維持管理を通じて、区の景観向上に著実に貢献している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	花卉購入の費用が大半を占めており、これ以上削減できない。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 ボランティアによる公共花壇の維持管理が図られているが、メンバーの高齢化等の課題もあることから、委員募集等の改善を行いながら、事業を継続することが適切であると考えられる。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	10	環境まちづくり支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		森田	63123	

事業の概要											
事業の概要		行政・区民・市民活動団体・企業の協働により、身近な環境について学ぶイベントの実施や、区内の小学校で学ぶ「子ども環境授業」など、環境に関する地域の取組を進めます。									
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費						
		—	—								
地域の課題と現状		地球温暖化防止に向け、区民自らが身近に環境問題を考え、行動できるような取組が必要です。									
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度			
		事業費	1,636	1,081	1,995	1,033					
		財源内訳	国庫支出金								
		市債									
		その他特財									
		一般財源		1,636		1,081		1,995		1,033	

計画 (Plan)	
事業の目的	地球温暖化防止活動の普及・啓発を図りながら、区民との協働により様々な取組を実施し、より環境に配慮した市民生活を送るよう環境意識を醸成します。
今年度の事業の取組内容	企業や市民団体と連携してSDGs啓発イベントや子ども環境授業などを開催し、環境学習の場を提供します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・4月15日にかわさきSDGsランドを開催予定で出展団体との調整等を行っていたが、荒天のため開催中止となった。 ・子ども環境授業を開催(矢上川で遊ぶ会×本月小学校、富士通×新城小学校・中原小学校の計3校で延べ6回実施) ・なかはらエコ推進大使ロージーちゃんをプリントした環境啓発品を製作・配布 ・かわさきスポーツパートナー、小学校、かわさきSDGsパートナー等と連携し、SDGsを学べる啓発イベント「なかはらSDGsまつり」を開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	子ども環境授業の開催回数	目標	4	4			回
				実績	5	6			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		環境に配慮した意識を醸成する取組については、引き続き継続的な取組が求められていますが、日々変化する社会環境に合わせ、効果的・効率的に普及・啓発を行うため、随時事業内容を見直す必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	持続可能な社会に向けて、地球温暖化防止は施策上のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	小学生が企業や団体からより実践的な環境教育を受けられることで、広範な知識の習得に役立っています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	これまでの取組経過等も踏まえ、実施に向けた事務打合せを効率的に進めるなど、事務改善の可能性はあります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 子ども環境授業の開催回数は年6回と目標を達成していますが、引き続き、環境配慮への取組が求められていることから、企業や団体等との連携について、取組の見直し・改善をしながら、事業を継続します。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	15	中原スポーツまつり開催事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			岡崎	63360

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>		ニュースポーツやパラスポーツなど「年齢を問わず」、「誰でも」、「簡単に」、「すぐできる」スポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる機会を提供する。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度 令和3年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業費	
<b>地域の課題と現状</b>		健康不安や生活習慣病の拡大など高齢化社会を背景に、競技スポーツだけでなく、高齢者でもできる生涯スポーツへと、スポーツのニーズが多様化している。							
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
	<b>事業費</b>	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	<b>財源内訳</b>	944	898	883	866				
	国庫支出金								
	市債								
その他特財									
一般財源	944	898	883	866					

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	① 子どもの健全な発育、中高年の生活習慣病等の予防や体力・生活機能の維持 ② 幅広い市民への運動機会提供による運動不足解消・健康づくり ③ 多様な世代の交流機会創出と地域の繋がりのづくり
<b>今年度の事業の取組内容</b>	ニュースポーツ・パラスポーツのような「誰でも簡単にできるスポーツ」の体験ブースを出展する。

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
<b>取組内容の実績等</b>	町会やスポーツ推進委員会を始めとした地域団体による実行委員会での内容を検討し、新たに川崎市とどろきアリーナ(川崎とどろきパーク株式会社)と共催することで前回の16種目を上回る18種目の体験ブースを出展するなど内容を拡充した。結果、目標を上回る844人の参加があった。						
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<b>指標分類</b>	<b>指標</b>	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	<b>単位</b>
	1 成果指標	中原スポーツまつりの開催(参加者)	500 597	500 844			人
	2		目標 実績				
	3		目標 実績				
	4		目標 実績				

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	健康不安や生活習慣病の拡大など高齢化社会を背景に、競技スポーツだけでなく、高齢者でもできる生涯スポーツへと、スポーツのニーズが多様化している。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	■ 実施 (直近) R5 年度 □ 今後実施( 年度から)		
<b>具体的見直し・改善内容</b> ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	R3年度:これまで長年にわたり主にドッジボール大会として実施してきたが、スポーツのニーズが多様化している現状を踏まえ、令和3年度より新規事業「中原スポーツまつり」へ移行 R5年度:川崎市とどろきアリーナと共催することで、18種目のブースを出展し、令和4年度より出展数を増やした。(令和4年度は15種目)		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツのニーズが多様化したことで、より幅広いニーズ(様々なスポーツが体験できるニーズ)が高まっているため	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	親子連れを中心に多くの方に参加していただき、参加者アンケートの結果も好評のため	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高齢者や障害を持った方も含めたより多くの層の方が参加しやすい内容となるよう、実施種目を始めとした事業内容を更に改善していく。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続きスポーツのニーズの多様化に対応した内容で開催できるようニュースポーツやパラスポーツなど「年齢を問わず」、「誰でも」、「簡単に」、「すぐできる」スポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる機会を提供していく。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	20	中原区体育及びスポーツ振興事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		岡崎	63360	

事業の概要										
事業の概要		スポーツ大会主催者の申請に基づき、区民の健康増進、親睦の促進、スポーツの振興発展等に寄与すると認められるスポーツレクリエーション行事に対して区長杯を贈呈している。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費		
		平成23年度		—						
地域の課題と現状		地域住民間のコミュニティ意識の希薄化が課題となっている。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	66	41	66	58					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		66	41	66	58					

計画 (Plan)	
事業の目的	スポーツの振興発展等に寄与すると認められるスポーツレクリエーション行事に対して区長杯の製作・贈呈を行う。
今年度の事業の取組内容	申請のあった各種スポーツ大会に対する区長杯の贈呈

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		6大会において12個の区長杯を贈呈した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	贈呈した大会数	目標	6	6			大会
				実績	5	6			
	2	成果指標	贈呈した個数	目標	12	12			個
				実績	10	12			
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		スポーツ大会を活性化させることに区長杯を贈呈することで一定程度の効果が望めるものの、社会環境の変化等により、一部の競技大会に対して施策を実施するのではなく、多世代に対して効果のある施策を実施していく必要が生じている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		R5年度:相手方の理解を得た上で、贈呈する楯をより安価なものにする等により、経費を縮減した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	区長杯の申請団体は毎年固定化しており遞減傾向にある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	スポーツ大会への区長杯贈呈については、それ以上に効果の得られる施策へ転換していく必要があると考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	限られた予算の中でより効果的な施策を実施できるよう、経費削減などを検討していく。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	申請団体が固定化してしまっているため、一部の競技大会を対象にした区長杯贈呈事業の有効性を検討した上で、より効果的な事業に予算を使用できないか検討を要する。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	25	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		岡崎	63360	

事業の概要									
事業の概要		健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれているランニングを通じて、普段からの運動の習慣化・運動人口の増加、地域への愛着・シビックプライドの醸成を図るため、誰でも気軽に参加できて、走る楽しみや完走する達成感を感じられるランニングイベントとして、「なかはらランニングフェスタ」を開催する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		昭和48年		—					
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を創出する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	460	460	700	700				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	460	460	700	700				

計画 (Plan)	
事業の目的	健康増進スポーツとして親しまれている「走る」ことを通じ、区民の交流機会を創出し、健康増進・体力増強を図り、相互親睦を深めることにより、健康で明るく住み良いまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	小学校低学年と保護者ペアによる「ファミリーラン」(1km)、等々力陸上競技場とその周辺を走る「ロードレース」(3km、5km)などを実施する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		町会やスポーツ推進委員会を始めとした地域団体による実行委員会での内容を検討し、富士通陸上競技部による「ランニング教室」や、「ファミリーラン」(1km)、「車いすラン」(1km)、「ロードレース」(約3km、約5km)などを実施。新たに車いすランを本格実施したことや、プログラムの構成を見直し、別々の種目の参加者が並走していた状況を解消することで、ロードレースにおいて前回より多くの参加者を受け入れることができたことにより、目標を大きく上回る724人の参加があった。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	なかはらランニングフェスタの開催(参加者)	目標	500	500					人
			実績	601	724					
	2		目標							
			実績							
3		目標								
		実績								
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代を中心とした区内への転入が多く、新たな住民や親子が気軽に参加できるような体制づくりが求められている。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) R4 年度 □ 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		長年にわたり中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」として実施してきたが、一般ランナーの増加により、大会の運営が困難になっていた。また、ライト層や新たな住民が参加しにくい状況にあった。そこで、会場を等々力陸上競技場に変更し、誰でも気軽に参加できて、地域の魅力にも触れられるイベントとして「なかはらランニングフェスタ」を開催した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	転入や子育て世代の多い本区において、新たな住民や親子がスポーツを親しめる機会を増やしていく必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	親子連れを中心に多くの方に参加していただいているため	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	運営の人手不足という課題があるため、役割分担・人員配置の見直しを図っていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 引き続き健康マラソンの普及と区民の健康増進を図るため、誰でも気軽に参加できて、走る楽しみや完走する達成感を感じられるランニングイベントを開催することで、区民の交流機会、健康増進・体力増強の機会を提供していく。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	30	中原区青少年吹奏楽コンサート事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			柳澤	63352

事業の概要									
事業の概要		区内の中学校及び高等学校を対象に中高生の運営参加による吹奏楽コンサートを開催します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成2年度	—						
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方でコミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組みを通じて世代や地域間の交流機会を提供し、地域を活性化していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1650	1640	1,650	1,545				
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1650	1640	1,650	1,545				

計画 (Plan)	
事業の目的	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進します。
今年度の事業の取組内容	区内中学校及び高等学校を対象とした吹奏楽コンサートを実施する。なお、法政二中高で初めての一般客を入れての開催予定のため、運営方法の再検討を行う。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		中原区内中学校(10校)、高等学校(4校)が参加し、出演生徒全470名が法政大学第二中・高等学校にて演奏を行った。また、一般客が入場可能な形で開催し、1,134名の観客が来場した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	中原区青少年吹奏楽コンサートの来場者数	目標	600	1,200			人
				実績	763	1,134			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の人口が増加し、新たに区内に居住される方が多い状況の中、地域と行政が協働により区内の音楽資源を有効に活用しながら継続して地域交流の促進に向けた取組が求められています。また、新型コロナウイルス感染症におけるwithコロナ時代の新しいスタイルを確立しながら進めていきます。		
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> R4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入場券を発行し、保護者のみ観客として入場可とした。また、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを作成し、動線の一方通行化、控室の利用場所及び二酸化炭素濃度測定器等を設置するなど、運営方法の見直しを行った。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	令和5年度は4年ぶりの有観客での開催であったが、コロナ以前と同程度の来場者数であったため。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進している。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	アンケート結果を踏まえ、広報における経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	長年に渡り同様の事務手続き、コンサート内容となっているため、社会状況の変化に合わせてコンサート内容や会場の再検討、事務手続きの見直しを行いながら、継続して本事業を実施していくことが適切であると考えられる。

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	35	中原区役所コンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		太田	63356	

事業の概要									
事業の概要		親しまれる区役所を目指すとともに、本事業を通して市の施策である「音楽のまち・かわさき」に掲げる、「市民が愛着と誇りが持てるまちづくり」を推進することを目的に、ランチタイムに中原区役所等を会場として、区民ボランティアとともにコンサートを実施し、区民に様々なジャンルの良質な音楽を気軽に楽しめる機会を提供します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1723	1515	1,723	1,353				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	1723	1515	1,723	1,353				

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区役所や区内施設等を会場として、区民ボランティアとともにコンサートを実施し、区民にクラシックを中心に様々なジャンルの良質な音楽を気軽に楽しめる機会を提供することで、親しまれる区役所を目指すとともに、本事業を通して市の施策である「音楽のまち・かわさき」に掲げる、「市民が愛着と誇りを持てるまちづくり」を推進します。
今年度の事業の取組内容	内容充実のため実施回数等の見直しを行いながら、区役所や区内施設等を活用したコンサートを実施します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・区役所5階会議室、グランツリー武蔵小杉、地域の寺、平和館屋内広場にて全6回コンサートを実施し、延べ600人以上の来場者数があった。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	コンサートの開催		目標 6	5			回
					実績 6	6			
	2				目標				
					実績				
3				目標					
				実績					
4				目標					
				実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りをもち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和4年度から委託業者の選定方法を見直し、一般競争入札を行っています。また、来場者の多様化を目指し、話題性の高いアーティストや多彩なジャンルの音楽を提供できる企画の工夫を例年行っています。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	事業開始当初より現在まで、常に満席に近い集客となっています。また、終演後に実施しているアンケートからも、事業への満足度や期待が高いことが伺えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	「音楽のまちづくり」の推進、区役所のイメージアップに貢献しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	契約の公平性や新たな事業者が参加しやすくなるため、令和4年度から一般競争入札を採用する見直しを行いました。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
来場者の多様化に向けた企画の工夫、開催したことのない会場での開催、地元音楽家の起用など地域との結びつきを図りながら、継続して本事業を実施していくことが適切であると考えられます。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	40	In Unity開催事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			福本	63356

事業の概要									
事業の概要		区民が地域への愛着や誇りを持てるまちづくりを推進することを目的として、区民との協働により、区内で活動するアマチュアミュージシャンやダンスグループに日頃の成果を発表する場を提供し、音楽を通じて幅広い地域・年齢層の人々の交流促進を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		—	—						
地域の課題と現状		世代間・地域間の交流等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,909	1,903	1,909	1,908				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,909	1,903	1,909	1,908				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、地域で活動するアマチュアミュージシャンやダンスグループに日頃の成果を発表する場を提供し、音楽を通じて幅広い地域・年齢層の人々の交流を促進することで、区民が地域への愛着や誇りを持てるまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アマチュアミュージシャンやダンスグループなどによる音楽ライブ「In Unity」の開催</li> <li>●中原区内各所で、PRイベントの実施</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・中原区役所を会場にIn Unity2024を実施した。(参加者延べ600人) ・区内各所でのPRイベント、地域の団体と連携したイベントを実施(計3回)し、地元企業や団体等と協力関係を構築することができた。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	中原区音楽ライブ「In Unity」の開催	目標	1	1				回
				実績	1	1				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	出演希望者が多数あり、事業ニーズは依然として高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地元企業と協力関係を築き、地域交流創出のコラボイベントやライブを開催するなど、今後の事業の発展に繋がる成果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市民活動団体としての自立や財政面における自立等を促していく必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
既に20年間行政として財政的・人的支援してきており、今後も支援を継続するのであれば、事業の実施方法や運営人員確保等について見直しが必要であり、自力での見直しが難しい場合には、事業終了も視野に入れる必要がある。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	50	歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			渡部	63356

事業の概要									
事業の概要		区民自らの手によりまちの魅力を発信していくため、地域の歴史や人材等を活用し、まち歩きや講座を通じて区民に中原区の魅力を発信するとともに、中原区の魅力を紹介できる人材を育成します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		—	—						
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	608	344	608	515				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	608	344	608	515				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の歴史や人材等を活用し、まち歩きや講座を通じて区民に中原区の魅力を発信するとともに、中原区の魅力を紹介できる人材を育成することにより、区民自らの手によりまちの魅力を発信していきます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の歴史や文化を活用したまち歩きや講座を開催</li> <li>●地域の魅力を紹介できる人材を育てる講座を開催</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		下記目標回数・実績回数は、下記講座一式で1回実施として計上。 ・6月～7月に全4回のまち歩きボランティアガイド養成講座を開催 ・10月～3月に全5回の魅力発信講座を開催 ・小学生を対象とした夏休み特別講座を開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	講座の開催	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		通常講座とは別にボランティア養成講座を開催したり、小学生対象の休日開催の単発特別講座を設けたりすることで、より多様な層の区民が気軽に参加できる企画の工夫を行った。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区の魅力発信によるイメージアップ効果は依然として高い。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区のイメージアップに着実に貢献している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	すでに散策マップの印刷料に関する契約方法の見直しを行っている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区内人口の増加に伴い、地域交流の機会として、区民との協働により、区内の文化資源を有効に活用しながら継続して本事業を実施していくことが適切であると考えられます。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	55	スポーツを通じた地域活性化推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		岡崎	63360	

事業の概要									
事業の概要		区内を活動拠点とするスポーツパートナーや体育施設などのスポーツ資源を活用し、サッカー教室やバレーボール教室などの開催に取り組み、誰もが気軽に楽しめるスポーツを通じて、地域住民の交流機会を創出し、相互親睦を深めることにより、健康で明るく住み良いまちづくりを推進する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費	
		平成23年度		—					
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を創出する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,177	3,136	2,998	2,655				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	3,177	3,136	2,998	2,655				

計画 (Plan)	
事業の目的	川崎市スポーツ推進計画の基本方針の一つである「スポーツを通して川崎の魅力・活力を楽しめるまち」に沿って、区内を拠点にして活躍している「かわさきスポーツパートナー」と連携したイベントを開催することで、地域間・世代間の交流機会の創出による、地域の活性化と元氣と潤いのあるまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士通レッドウェーブ、NECレッドロケッツ、川崎フロンターレと各種スポーツ教室の開催。</li> <li>・富士通フロンティアーズとアマフト普及啓発、小学生フットボール大会を開催。</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		NECレッドロケッツバレー教室(1回、参加137名)、富士通レッドウェーブバスケ教室(1回、参加104名)の実施。川崎フロンターレサッカー教室について、雨天のため内容を記念品配布・サイン会に変更して実施(1回、参加130名)。中原区小学生フットボール大会&体験会を開催(1回、参加204名)。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	スポーツ教室等の開催	目標	5	5			回	
				実績	5	5				
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		若い世代を中心に新たに区内に居住される方が多い状況の中、区内に拠点を置くスポーツパートナーと連携し、引き続き地域でスポーツに親しむ機会を増やしていく必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> R元年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		R元年度: 事業が定着しつつあり、スポーツパートナーとの連携も強化されている。過去の参加者や関係者の意見を踏まえ、初心者・経験者コースを設けて実施する等、事業の魅力を高め、より高い効果を生み出すよう工夫した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域住民の交流機会の創出及び地域の活性化のためにも事業の必要性は高いと考える。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地元のスポーツチームへの愛着と地域の活性化に一定の成果があったと考えらるため	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	仕様の見直しや、他の事業との連携等を検討していく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
川崎市を拠点とするスポーツパートナーの活躍が著しく、貴重な地域資源であるため、今後も継続して活用していくべきであると考え。その中で、地域交流の促進や地域の賑わい、魅力の促進につながるよう、より効果的な手法を検討していく必要がある。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	05	中原区市民提案型事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			和田	63122

事業の概要										
事業の概要		区民との協働により、地域課題の解決を図ることを目的としています。公募により、区民から地域の課題解決の事業提案を受け、審査・選定を行い、川崎市が進める協働型事業のルールに基づき、選定された事業を区民との協働で実施します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業				
		—	—							
地域の課題と現状		地域課題の更なる複雑化による地域の担い手不足が見込まれる中では、持続可能な地域づくりに向けて、さまざまな主体と協働・連携する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		2,583	2,320	2,583	2,018					

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、地域課題の解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業提案及び実施団体の募集</li> <li>・川崎市中原区市民提案型協働事業審査委員会による選考の実施</li> <li>・前年度実施事業の結果報告会の開催</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップアップコースでは、なかはらウエルカムパーティー実施事業、なかはらペット防災コミュニティ立ち上げとペット防災意識の啓発イベント事業等計4事業を実施。</li> <li>・スタートコースでは、指コガを通じた健康と美容事業、地域をモデルにした絵本作りと読み聞かせ事業等計7事業を実施。</li> <li>・令和4年度中原区市民提案型事業結果報告会を実施</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
実績									
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域課題の複雑化による地域の担い手不足が見込まれます。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題の複雑化により、ニーズは薄れていないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	社会環境の変化に伴い事業の見直しを随時行っており、成果も上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	日常的な事業実施支援や事業結果報告会を通じて、事業実施団体の意見、要望の把握に務め、手続きの見直し等事務改善を図ります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 持続可能な地域づくりに向けて、さまざまな主体と協働・連携しながら事業を継続する必要があると考えられます。事業の対象や要件、申請等提案に係る手続きの見直しを行い、改善に取り組めます。
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	10	地域課題対応事業一般経費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			和田	63122

事業の概要									
事業の概要		地域課題対応事業全般の執行に必要な事務用品の購入、複写品費、郵送などの経費支出を行い、円滑な事業推進を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業費				
		—	—						
地域の課題と現状		区内人口の増加や小杉地区を中心とした都市整備の進展をはじめ、社会状況が多様化する中、協働型事業の取組などを通じ、様々な地域の課題に対応していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	937	695	1,086	765				
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	937	695	1,086	765				

計画 (Plan)	
事業の目的	様々な地域課題対応事業の円滑な事業推進を図れるようにします。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>区のシンボルマーク及び区の木・花のシンボルマーク入り封筒の作成</li> <li>事務用品の購入及び複写品、郵送料等の経費支出</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料送付等に使用する区のシンボルマーク入りの封筒(長3形/9,900枚、角2形/4,900枚)を作成し、各課で使用</li> <li>各課で使用する事務用品の購入、複写品、郵送料への支出</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内人口の増加やまちの進展に伴い、様々な地域課題に対応していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各事業を実施するにあたり、必要不可欠な経費であると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各事業が円滑に執行していることから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各事業の所管課と協議しながら、適切な経費の執行を進めていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		Ⅱ	地域課題対応事業の執行において、事務用品等は必要不可欠な経費であることから引き続き事業を継続していきます。
		Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	20	市制100周年記念推進事業費(中原区)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		中原区役所まちづくり推進部企画課		深谷	63121	

事業の概要									
事業の概要		令和6年に迎える市制100周年を契機とした地元への愛着意識醸成などのため、地域住民等とともに、「(仮)なかはらアート作品」、「(仮)なかはらまつり」及び「市政100周年記念花壇」の取組を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		令和6年に迎える市制100周年を機に、地域住民等とともに、地元への愛着意識の醸成など川崎市の次の100年に向けた取り組みを進める必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	0	0	3,100					
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
		市債	0	0	0				
その他特財 一般財源		0	0	3,100					

計画 (Plan)	
事業の目的	市制100周年に合わせパネルの作成や記念イベントを行うことで、プラントメッセージでもある多様性の啓発、地元への愛着醸成などを進めます。
今年度の事業の取組内容	市制100周年記念「(仮)なかはらアート作品」作成に係る準備及び市制100周年記念「(仮)なかはらまつり」を開催します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・8月26日(土)に市制100周年記念「なかはらコアまつり」を開催し、約14,000人来場した。 ・令和6年度の市制100周年記念「(仮)なかはらアート作品」作成に向け、なかはらコアまつりやSDGsパートナー祭り等で区民からメッセージカードを集めた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	仮称なかはらまつり(イベント含む)の開催回数	目標		1			回
				実績		1			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和6年に迎える市制100周年を機に、地域住民等とともに、地元への愛着意識の醸成を図るなど川崎市の次の100年に向けた取り組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	令和6年に迎える市制100周年を機に、地域住民等とともに、地元への愛着意識の醸成を図るなど川崎市の次の100年に向けた取り組みについてのニーズは高まっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	なかはらコアまつりに約14,000人来場したことから、一定数の区民の地元への愛着意識の醸成を図ることができたのではないかと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	新規事業であったため、令和6年度の実施に向けて役割分担、契約方法、仕様の見直しなどを行う余地があるため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
令和6年に迎える市制100周年を機に、地域住民等とともに、地元への愛着意識の醸成を図るなど川崎市の次の100年に向けた取り組みが求められているため、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどを行いながら事業実施する。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	45	05	中原区役所サービス向上事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			635500		区民サービス部区民課			土橋	63237

事業の概要									
事業の概要		「区役所サービス向上指針」に基づき、区役所の利用者に対し、より質の高い区役所サービスを提供することを目的に、職員研修の実施、窓口環境の改善を進めます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		暮らしやすい地域社会を築く協働のパートナーである市民との信頼関係を構築するため、区役所におけるサービスの向上に継続的に取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1698	1096	1,475	957				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1698	1096	1,475	957				

計画 (Plan)	
事業の目的	「区役所サービス向上指針」に基づき、区役所が主体となり中原区の特徴に特化したサービスの向上に取り組みます。区役所サービスを向上することにより、市民とともに暮らしやすい地域社会を築く協働のパートナーとして市民と区役所の信頼関係を築き深めていくことを目指します。
今年度の事業の取組内容	区役所サービス向上取組方針・各課取組目標の設定及び区役所ホームページでの公表。サービス向上委員会及び推進リーダー会議による研修、窓口環境の改善

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		●区役所サービス向上取組方針・各課取組目標設定および取組結果を区役所ホームページでの公表 ●サービス向上を目的とした職員向け研修を2回実施。●来庁者のサービス向上のため、机上のデスクマットを購入。 ●区民課混雑期の対応として、レイアウト変更及び案内通路の明確化。●業務早見表の作成等							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	サービス向上に資する研修	目標	60	60			人
				実績	67	43			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		依然として高層マンションの建設が進み、マイナンバーカードの普及に伴う更新手続きなど、市民が区役所を利用する機会が多く、地域の実情に合った質の高い区役所サービスの提供は必要と考えます。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民課や児童家庭課では混雑期に長時間お待たせする状況にあり、引き続き区役所サービスの向上に取り組む必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	会計年度職員も参加するなど、職場全体でサービス向上に取り組む意識が向上しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	テーマの選定や内部講師の活用など、より効率的な事業実施を目指す必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区役所利用者に対する区役所サービスを向上させるため、引き続き地域の実情に合った取組が必要と考えます。		

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	45	10	中原区役所混雑緩和・環境改善事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651600		まちづくり推進部総務課		鳥山	63114	

事業の概要										
事業の概要		平成18年度から始まった武蔵小杉駅周辺の再開発により人口の流入が著しく、区民課各窓口が混雑しています。特に区民課では年度末から5月の大型連休明け頃までの混雑が激しく、例年待ち時間が発生しています。今後も武蔵小杉駅を中心とした大型集合住宅の建設計画があり、令和5年度まで人口の増加が見込まれています。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業費		
		—		—						
地域の課題と現状		平成18年度から始まった武蔵小杉駅周辺の再開発により人口の流入が著しく、区民課区役所各窓口が混雑しています。特に区民課では年度末から5月の大型連休明け頃までの混雑が激しく、例年待ち時間が発生しています。今後も武蔵小杉駅を中心とした大型集合住宅の建設計画があり、令和5年度まで人口の増加が見込まれています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2218	2172	1,752	1,314					
	財源内訳	国庫支出金	1820	1820						
		市債								
その他特財 一般財源		398	352	1,752	1,314					

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混雑期における待ち時間の短縮</li> <li>・区役所全体のハード面の整備</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直し、工夫、混雑期の庁内職員応援体制の確保</li> <li>・区役所芝生広場の整備</li> <li>・区役所4階に打ち合わせスペースを新設</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直し、工夫について、各課が実施している良い取組み事例を集約し、区内で共有した。</li> <li>・区役所敷地内の芝生広場の整備</li> <li>・区役所4階に打ち合わせスペースを新設</li> <li>・区役所1階のレイアウト変更を行い来庁者用待合スペースを拡充</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標							
		実績							
	2	目標							
		実績							
3	目標								
	実績								
4	目標								
	実績								

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		武蔵小杉駅周辺の再開発により、現在も人口の増加が続いている。							
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 29年度		□ 今後実施( 年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		区として独自に導入していた「なかはらWi-Fi」については、「かわさきWi-Fi」に統一され、需用費及び役員費については、平成29年度から削減しました。待合環境改善(駐輪場整理業務委託)については、中原区役所管理運営費の「庁舎案内・庁中取締り及び駐車場整理業務委託」で対応することとし、平成29年度は委託料を使用しませんでした。							
評価項目					評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない		a		
	評価の理由				人口の増加が続いており、事業のニーズは高いと考えられます。				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている		a		
	評価の理由				芝生広場の整備を行った事で区民の方達の憩いの場等として日々たくさんの利用者がお見えになっています。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない		b		
	評価の理由				令和4年度に引き続いて年間で芝生の剪定を2回、目土を1回行いました。また、芝生広場に近接する樹木が伸び切って近隣住民に影響を及ぼしていたため、追加で剪定を行いました。再度樹木が伸びたタイミングで剪定を行います。				

改善 (Action)									
今後の事業の方向性	方向性区分			方向性		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性			
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了			II		業務の見直し、工夫について、各課が実施している良い取組み事例を集約し、区内で共有していきます。 区役所全体のハード面の整備を行っていきます。			

# 令和5年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	50	05	区の新たな課題即応事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		和田	63122	

事業の概要										
事業の概要		年度途中に発生する新たな課題に対応し、課題解決に向けた取組を推進します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題対応事業				
		—	—							
地域の課題と現状		区内人口の増加や小杉地区を中心とした都市整備の進展をはじめ、社会状況が多様化する中、新たな課題に迅速に対応し、住み良いまちづくりを進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	5,000	1,541	5,000	2,025				
		国庫支出金								
		市債								
	その他特財									
	一般財源	5,000	1,541	5,000	2,025					

計画 (Plan)	
事業の目的	年度途中に発生する新たな課題に適切かつ迅速に対応する事業を実施し、課題解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	年度途中に発生する新たな課題に対応する事業を実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・NECレッドロケッツVリーグ優勝(2022-23)に伴う武蔵小杉駅装飾事業 ・子ども作業着作成委託及び道路公園センター事業説明用パネル等の購入 ・地域支援課カウンタープライバシー保護パネルの設置 ・窓口混雑緩和に向けた取組(受付窓口の増設、総合案内の移設、案内表示の改善、チラシラックの移設) ・NECレッドロケッツVリーグ優勝(2023-24)に伴う武蔵小杉駅装飾事業							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標							
		実績							
	2	目標							
		実績							
	3	目標							
		実績							
	4	目標							
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の人口増加やまちの進展などの社会環境の変化に伴い、災害対応や新たに生じた地域課題に迅速かつ確に対応していくことが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	年度途中に発生した課題に迅速に対応するにあたり必要な事業であると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	課題に対し迅速に対応したことから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	直面した課題に対し、その都度必要とされる経費等を精査しながら進めています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区内人口の増加やまちの進展などの社会環境の変化に伴い、災害対応や年度途中における新たな課題にも迅速に対応することが必要であり、今後もこれらの課題に優先順位をつけながら取り組んでいきます。		